

あおぞらだより

特集: 開放病棟 第105号 (発行/平成24年2月)

文化

江戸川病院院長 新村ヨシオ



文化という言葉は日常で頻繁に使用され、「日本文化は…文化的には…」などと述べられるが、文化とは何かを考えた。文化とは生活様式に関する言語であるが、日本の文化はどのように発展し変貌してきたのかを振り返ってみた。現在我々はどんな文化で生活しているのか。大雑把に分けてみると、多少は時代間で重複とずれはあるが、独自の見解で江戸時代は武家社会、明治時代は文明開化、大正は軍国社会、昭和は経

は民主化社会、昭和は物質社会と分類してみたが、平成は24年目になるが何の文化なのか特徴が見えない。自身が社会に関心をもったのは昭和40年に入った頃で、西洋とくにアメリカを絶賛し、追いつき追い越せで国民が一体感を持って邁進していた。昭和50年から60年になると、世界で類を見ない技術立国として台頭し、経済的に裕福になった。飛躍的に文化国家の仲間入りし、昭和時代に世界一の経済大国になった。その是非論は百家争鳴で結論は言えないが、いわゆる文化的な生活は浸透し、先進国扱いもされてきた。しかし、古来の日本の文化や伝統は崩壊し、平成の時代になって文化は混沌としてきた。

文化を形成する要素は何か。一般的には学問・技術・教育などの水準を言

(…次ページに続きます)

うが、一言では言えない。国の歴史・民族・気候・地域性・人口・言語・資源・産業・経済・宗教・慣習・政治など枚挙にいとまが無い。民族にも歴史があり、気候によっても南国の明るさ、都市か田舎か、過疎化、言語でも方言・訛・抑揚、農業や漁業、裕福な都市でも格差があるし、宗教や慣習の取り入れ、政治の流れ等も文化に影響を与えるはずである。当地の野田市は、利根川と江戸川に挟まれた三角州に利根運河で区切られた三角形の農村地域であるが、村独特の言葉や抑揚、転入者に排他的な地区などがあった。今でこそ開発されて人口の流入が多く、都会の文化が拡がり、茅葺きの家に住む人はいなくなった。現在は流動は少なく、独自の雰囲気や醸成されたが、文化として安定するまでは、新旧住民間での常識や慣習そして価値観などのぶつかり合いは激しかった。今では何事もなかったように、現地を終いの住み処にしている人が多い。

文化は地域性があり、育つ環境がその者の文化背景となる。日本は海岸線、海運業や漁業、内陸に入って農業や商業、山岳地帯で林業や鉱業と産業によっても文化は異なる。自然と闘い命を張って生計を立てる漁師の集団は荒々しく、逞しい男社会である。農業はかつて三ちゃん産業と言われたが、ほのぼのとしてゆっくりと時間が流れていた。時代とともに、産業に革命がおこって、日本も潮流に乗り、優秀なうえに勤勉さが加わり、世界を席捲し世界一にまで登りつめたが、物質文明となり文化も変容してしまった。日本は大きく分ければ、関東と関西圏に分かれ、その中心都市は東京と大阪になる。日本人は発展する都市に集中し、東京都民と言っても、出身は地方の人が多く、いろいろな文化に馴染んだ人間が多数転入しても、田舎者と思われたくなくて、標準語を話すうち均一化された文化が発展した。細分化すれば県民性ということで文化の質を考えたりするであろう。関東でも地域の言葉で話せば、何県の生まれか、おおよその見当がつくのである。

文化は国をとり巻く環境によっても変わり、個人はどの地域に生まれたかによって影響を受ける。現在の日本は経済の変動に翻弄されてもいるが、日本文化が軸を失っている。政治も経済も凋落し、世紀末のような無秩序さで、生き残るためには手段を選ばない殺伐とした社会になっている。国際化となって更に拍車がかかり、外来語の氾濫、個人主義、競争社会、標準化、手引き書依存で、日本人らしさが失われつつある。言葉にしても標準語であり、入社すれば人間の管理は取扱い説明書のような契約だし、仕事は研修するものの手引き書みたいな内容である。成果だけが物を言う社会になり、機械と向き合う時間が多く、人間関係は疎遠になっている。日本の文化と言えば学歴社会、年功序列、終身雇用など、批判はあってもそれなりに秩序があって、会社や組織の忠誠心となり、自己を駆り立てられた。今となっては過去のこと。現在の文化は何と表現するか。

3-2病棟(男女混合開放病棟) は、こんなところ…

現在精神医療は、必要な入院医療を受けた後は、出来るだけ早期に在宅生活に移行し、治療を継続していく方向に変わってきています。入院中は療養に専念するため、社会的義務から猶予が与えられ、回復に向けた休養に集中する期間です。やがて病状の回復に伴い、社会復帰に向けて、自分で判断し、その人らしい生活ができるように、例えば、地域移行支援事業を利用することも出来ます。大いに利用しましょう！その時のために、服薬、金銭管理、食事などの「自己管理」を身につけ、また作業療法に参加することによって、社会生活を送る上でのより良いコミュニケーションをとることが出来るよう、頑張りましょう。

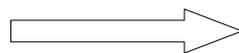
2012年1月30日 職員研修から…♪♪♪

地域移行支援事業とは？

千葉県1万人余、全国平均入院日数 300日といわれる精神科入院中の患者様。「入院から地域へ」の国の掛け声のもと、千葉県でも平成16年度から13保健所圏域で「精神障害者地域移行支援事業」が始められました。これは、受け入れ条件が整えば退院可能である方々に対し、病院と地域コーディネーターが手を携え退院を進めていく事業です。当日は地域体制整備コーディネーターの五十嵐様(中核地域生活支援センターのだねつ)をお迎えし、この事業の概要を資料とDVDによって、説明していただきました。参加職員も、時代の動静を学ぶ機会となりました。ご家族様も、本事業にご興味をもたれた方は、是非お気軽に相談室まで、お問い合わせ下さい。



裏ページは、楽しい3-2病棟の日課を紹介



見てね

桃源 節分会
鬼は外、福は内！！



認知症治療病棟「桃源」では、2月4日(土)に誕生会と一緒に節分会が催されました。
古来日本では、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると昔から考えられており、それを追い払うための悪霊払いとして、節分行事が執り行われるようになりました。
豆は「魔を滅する」に通じると言われており、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。

D棟ではペットボトルに鬼のお面を付けて的にし、豆に見立てたお手玉を投げ、倒れた本数で点数を競うゲームを行いました。紅(「日の丸チーム」)白(「雪チーム」)の2つに分かれて競い、患者様も狙いを定めてお手玉を投げていらっしゃいました。接戦の末、最後は雪チームが見事逆転勝利しました。



E棟では鬼に扮した職員に誕生月の患者様が「鬼は外！」と大きな声で豆をぶつけ、その後皆様で鬼の持っている籠にお手玉を投げ入れるゲームを2チームに分かれて行いました。

節分会の最後には病棟師長が鬼役となり、患者様の輪の中を逃げ回る師長に皆様でお手玉を投げ、今年の厄災を払いました。
患者様は「チームに分かれて対抗すると、負けてられないから頑張っちゃった」「鬼が逃げるから一生懸命投げた」と仰っており、大変盛り上がった節分会となりました。



2病棟による習字の様子です。皆さん、一生懸命取り組まれています。



～デイケアよりお知らせ～

2月15日(水)PM:13:00
 のだネット職員が来院されます。地域にある社会資源に関しての交流会となりますのでメンバーさんのご家族様で希望される方は是非ご参加下さい。

江戸川病院 2月 院内行事予定

誕生日会

D棟	2月4日(土) 14:00～	D棟 訓練室
E棟	2月4日(土) 14:00～	病棟
2-1棟	2月18日(土) 14:00～	病棟
1棟	2月21日(火) 10:00～	病棟
3-2棟	2月22日(水) 14:00～	病棟
2-2棟	2月27日(月) 14:00～	病棟

さくらんぼシアター 2月14日(火) 14:00～ ひまわり

編集後記

寒さが一段と厳しい今日この頃ですが、患者様、ご家族様、また日頃より当院を支えていただいております皆様、ご体調はいかがでしょう。幸い、当院では、インフルエンザ等を始めとする感染症の発生は見ておりません。この季節に入り、当院では病棟の出入りに消毒マットを敷き、また職員も日頃より、たえず体調の管理に努め、患者様方の健康をお守りすることの出来るよう、努力しております。

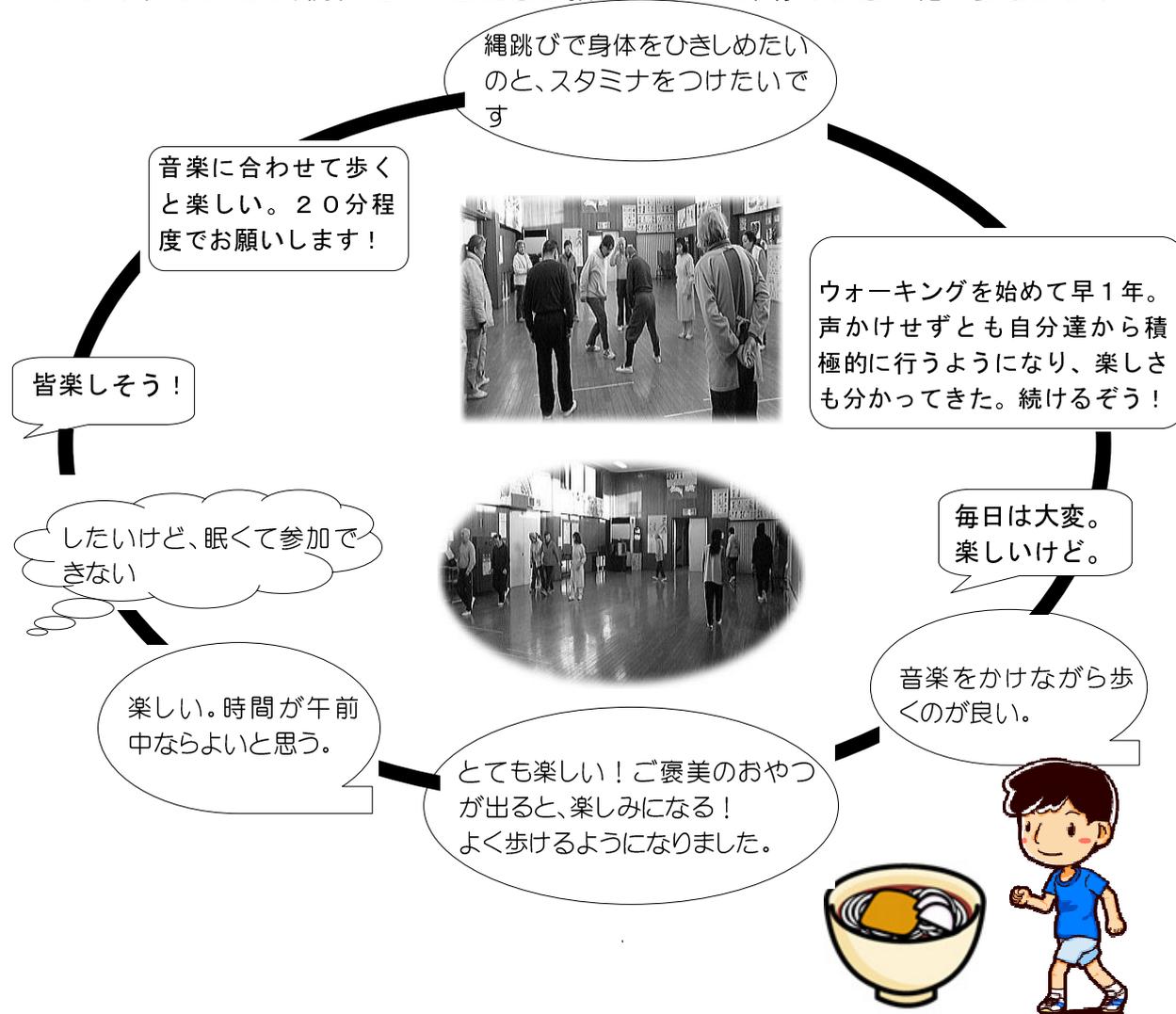
暖かい春の訪れまで、後一步。皆様もどうか、ご自愛くださいませ。(医療相談室)

『あおぞらだより』に関するご意見・感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238・292)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
 電話 04-7124-5511(代)

平成 22 年の 12 月中旬より始めて、2年目の春が訪れようとしています。患者様の体調に合わせて無理のないウォーキングであり、また患者様とスタッフとのコミュニケーションの一時でもあります。患者様の方から「ウォーキングやりましょう」と、声がかかります。準備体操～約 20 分のウォーキング～柔軟体操～足ジャンケンというメニューです。足ジャンケンの勝者は2重丸◎、参加者は1重丸○を、3-2病棟デイ・ルームに貼ってある参加表に記入しています。脳の活性化、体力作りに最高のウォーキング！いつまでも、続けてくれることを願って、今日もスタッフと一緒に歩きます！



誕生会に皆でゲスト!

このほかに、3-2病棟では、毎月のお誕生会では、近くのお店に行って皆でおやつをいただきます。近くのお店だけでなく、少し足を延ばしてショッピングも。生活必需品を無駄なく買う練習もします。そのためにも、足腰を鍛えるウォーキングは、とても役に立っています。